

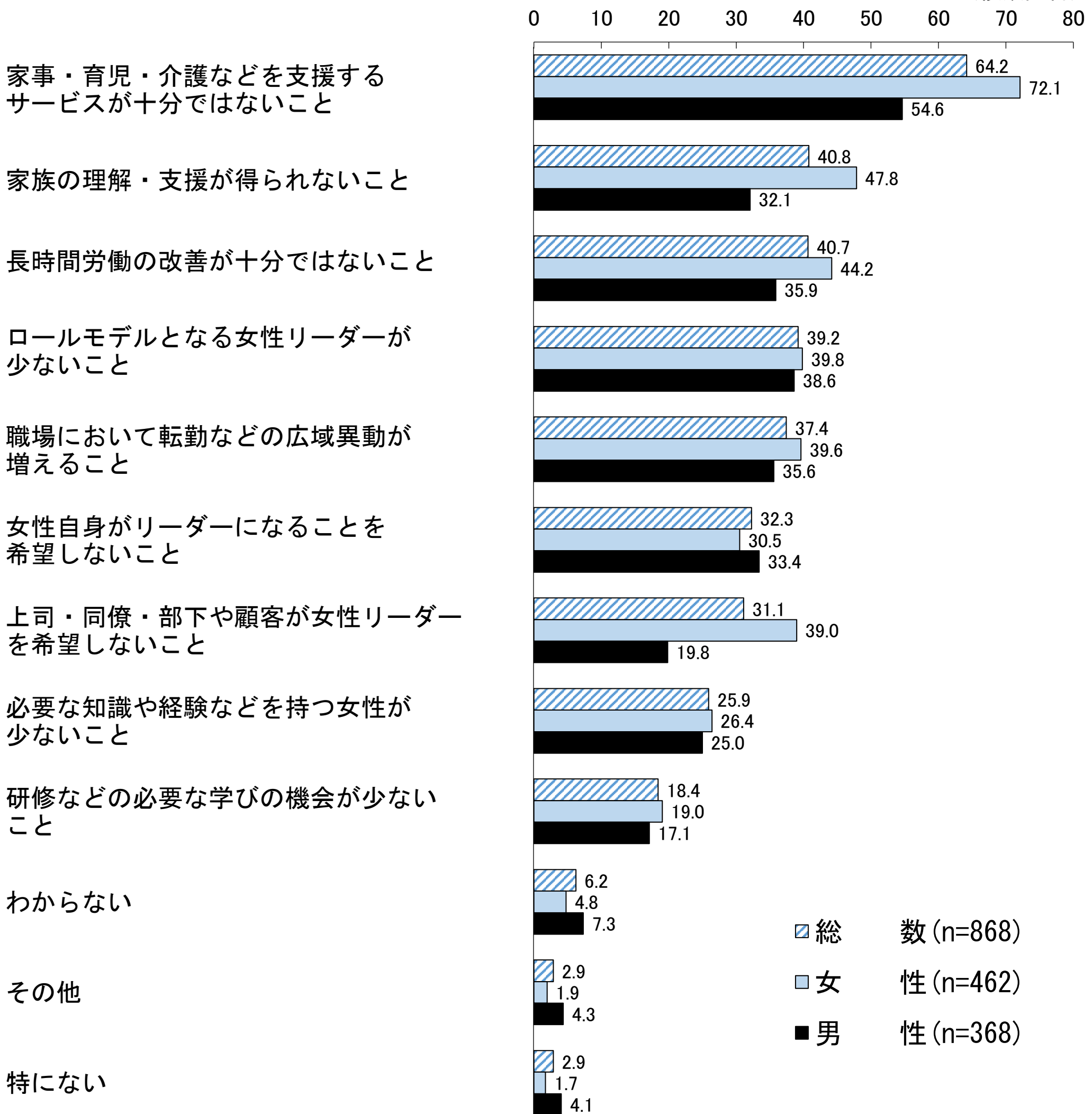
3 女性の活躍推進

問6 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・「家事・育児・介護などを支援するサービスが十分ではないこと」が64.2%で最も高く、次いで「家族の理解・支援が得られないこと」が40.8%、「長時間労働の改善が十分ではないこと」が40.7%となっている。
- ・性別にみると、男女差が最も大きかったのは「上司・同僚・部下や顧客が女性リーダーを希望しないこと」で、女性が男性を19.2ポイント上回っている。

図6-1 女性の活躍を進めるに際しての障害

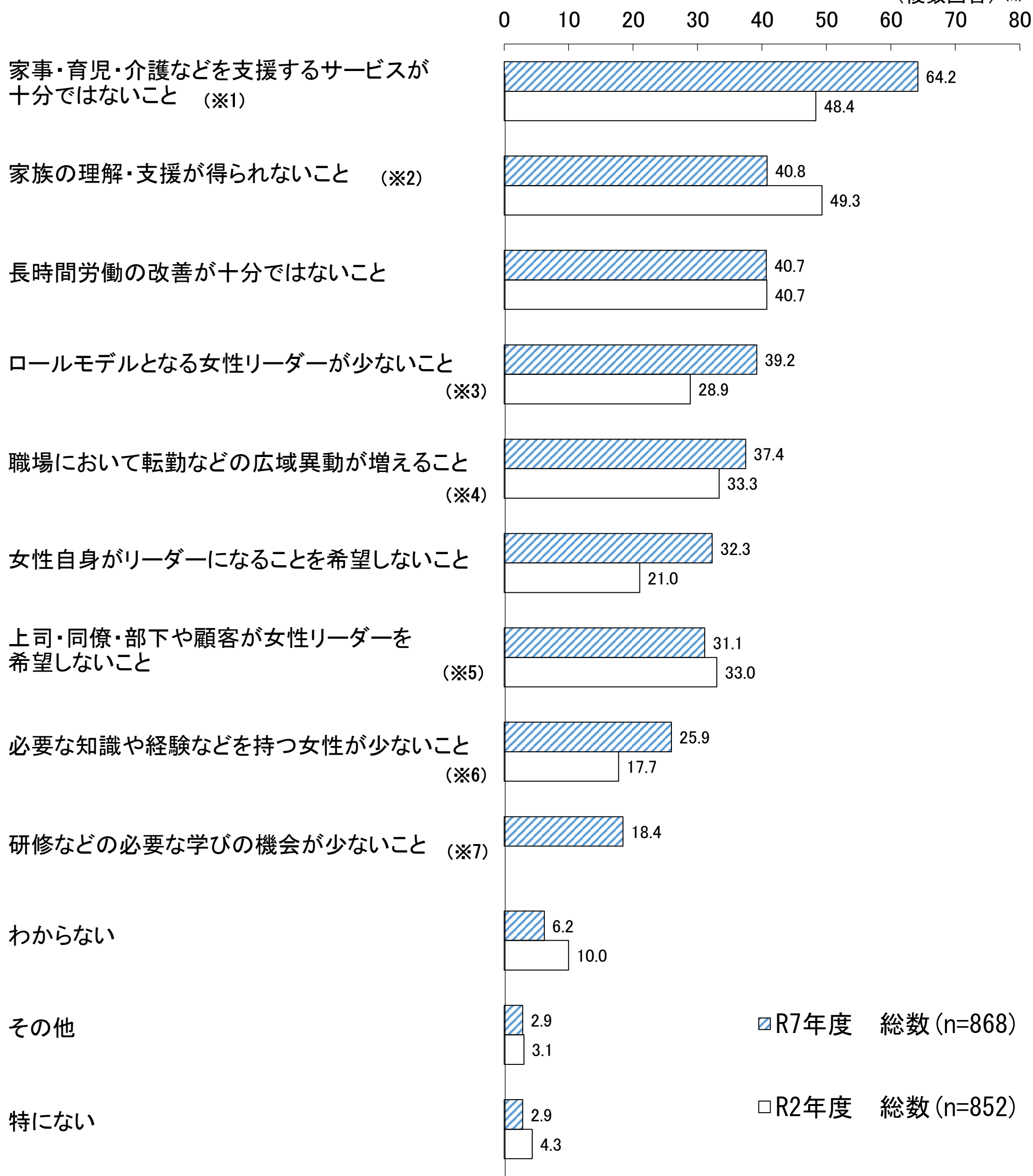
(複数回答) (%)



【参考：前回比較】

図6-2 女性の活躍を進めるに際しての障害(前回比較)

(複数回答)(%)



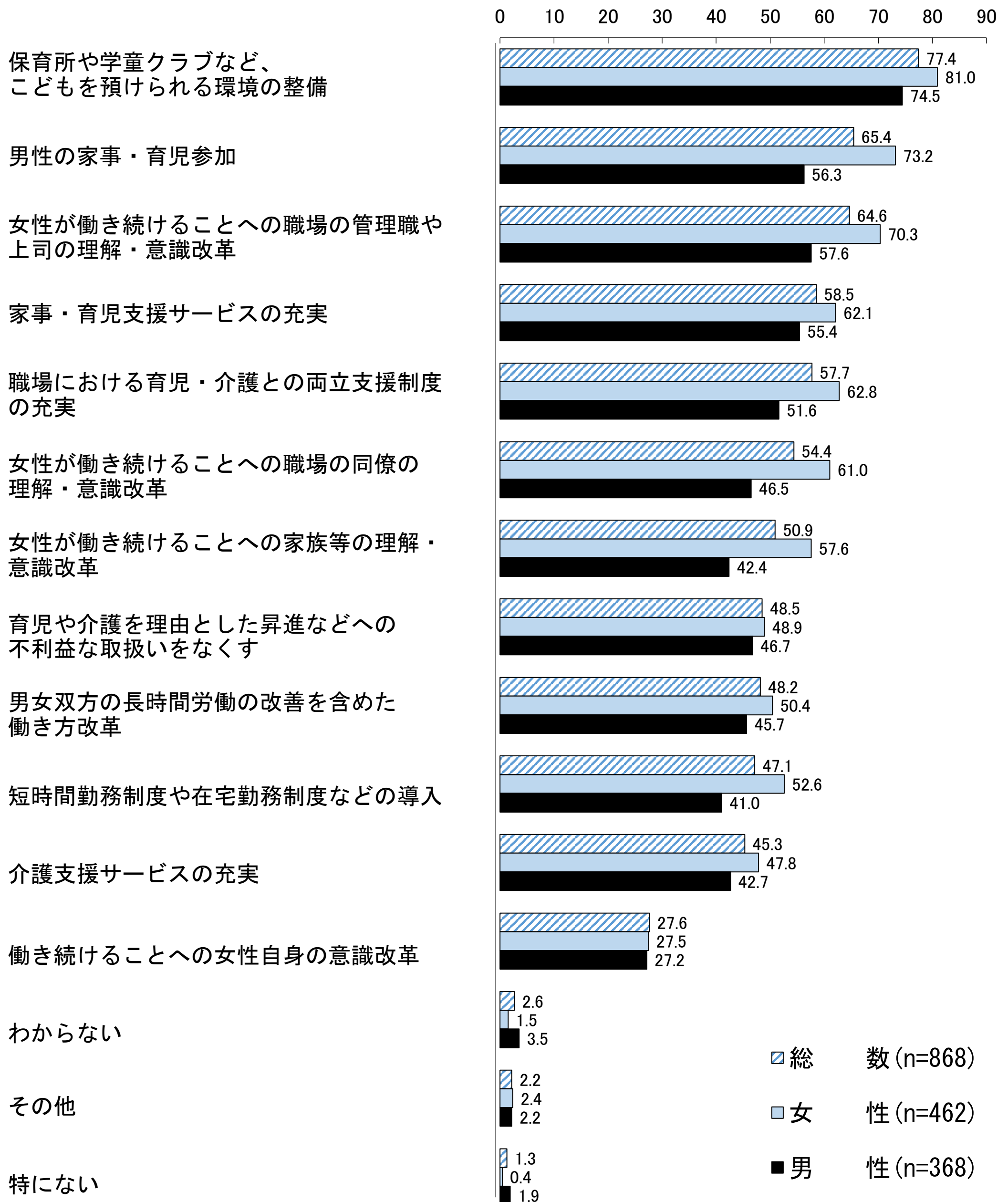
※1 前回調査では、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」
 ※2 前回調査では、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」
 ※3 前回調査では、「女性にとってリーダーになるための知識・経験を積む機会や女性のロールモデルが少ないこと」
 ※4 前回調査では、「企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること」
 ※5 前回調査では、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」
 ※6 前回調査では、「現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと」
 ※7 今回調査での新たな選択肢

問7 あなたは、女性が出産後も離職せずと同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・「保育所や学童クラブなど、こどもを預けられる環境の整備」が77.4%で最も高く、次いで「男性の家事・育児参加」が65.4%、「女性が働き続けることへの職場の管理職や上司の理解・意識改革」が64.6%となっている。
- ・性別にみると、女性はいずれの項目で男性よりも高い割合となっている。

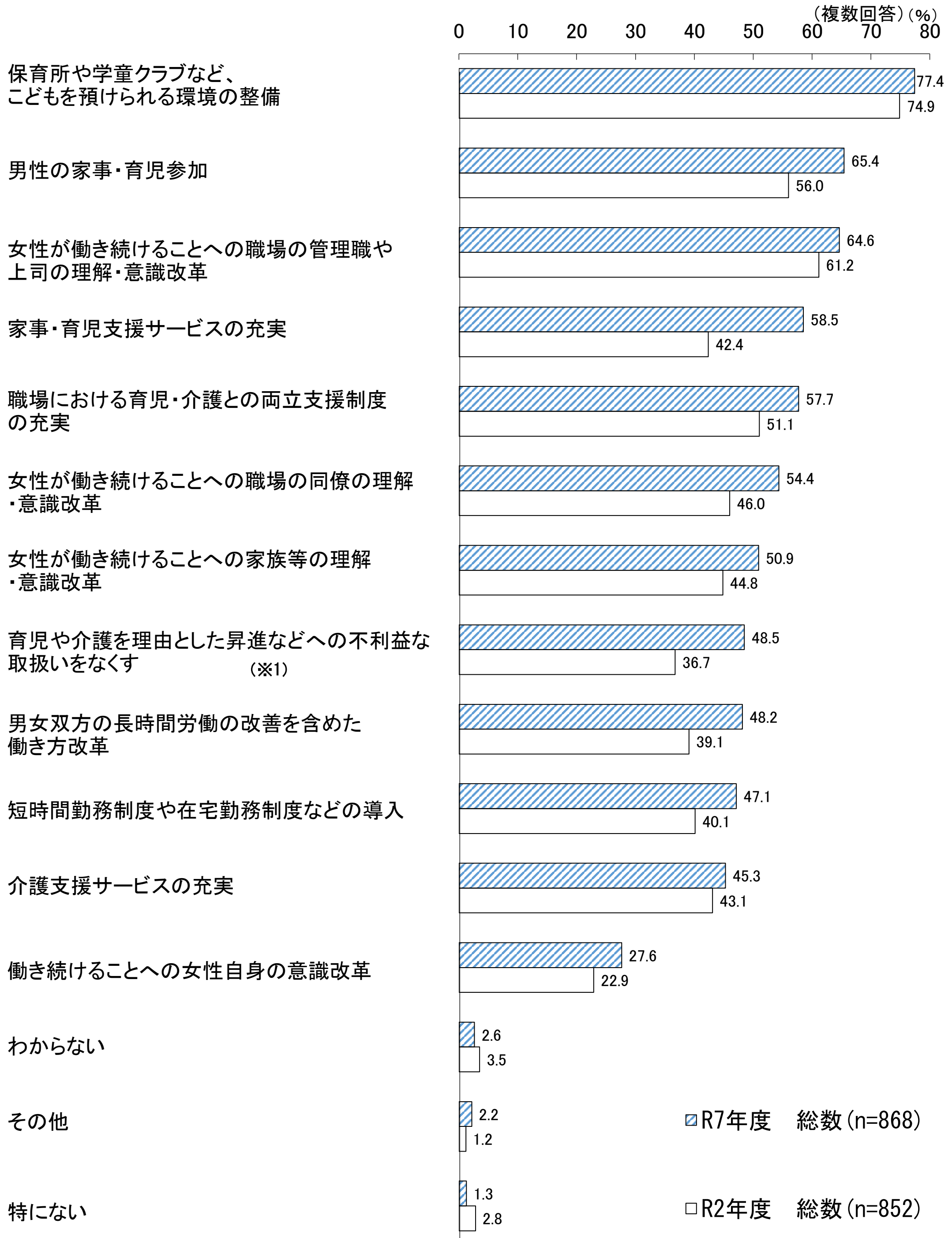
図7-1 女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと

(複数回答)(%)



【参考：前回比較】

図7-2 女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと(前回比較)



※1 前回調査では、「育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止」